

平成28年度 学校自己評価システムシート (県立草加高等学校 全日制課程)

目指す学校像	校訓「まこと」に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を図る進学校として、地域に根ざし愛される活力のある学校
--------	--

重点目標	1 学習力の向上を図り、生徒が自ら進路を切り拓き社会的に自立する力を育成する。 2 きめ細かい計画的な進路指導のもと、生徒一人ひとりの進路実現を図る。 3 部活動や行事を通して、生徒の成長を図り、体力と心豊かな人間性を培う。 4 国際理解教育の推進とともに、開かれた学校づくりを一層実践する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】</p> <p>生徒は授業を始め学習活動に真面目に取り組んでいる。昨年度は1年生全員が英検準2級を受験し33%が一次合格する等着実に学力は向上している。</p> <p>【課題】</p> <p>学力向上、「新プロジェクト5」への取組みを更に推進する。生徒に高い志を持たせ、主体的学びを促す。家庭学習を含め生徒の授業以外での学習を定着させる。</p>	学校生活充実度の向上と学習習慣の確立を達成する。	<p>①入学直後に学習モチベーションを行い高校での学習を意識させる。生徒の目標を定め、目標に向けての時間の自己管理に取り組み、計画的に授業以外の学習時間を増加させる。</p> <p>②授業力向上研修、授業互見、公開授業等を推進して、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導方法の改善に取り組む。</p> <p>③授業アンケートの効果的フィードバック方策を検討、実践する。</p>	<p>①学校生活充実度等を測定するアンケートの実施による、生徒の変容割合家庭学習時間の前年度比1.5倍以上</p> <p>②授業互見の内容検討及び実施回数、公開授業の実施回数、年次研修の工夫充実、協調学習等アクティブ・ラーニングを取り入れた授業研究の実施</p> <p>③授業アンケートのフィードバック</p>	<p>①今年度初めて4月に英数国の学習モチベーションを実施し、高校での学習への意識付けを行った。英語科の週末課題や各教科の宿題提出等の継続により家庭での学習方法を身に付け習慣化しつつある生徒もいる一方、平均家庭学習時間は入学直後に比べ、2学期以降半減するなど定着できていない。</p> <p>②授業力向上研修会(アクティブ・ラーニング研究)は実施できなかったが、県の「未来学び」事業や年次研修等で学んでいる教員も多い。授業互見については学力向上委員会で内容検討したが、ほぼ例年どおりになってしまった。授業互見期間は6月、11月に各2週間ずつ設け、記録シートや口頭で授業者にフィードバックし、授業改善に取り組んだ。</p> <p>③9月に生徒及び保護者対象学校評価アンケート、10月に全校で授業アンケートを行い、どちらも結果を教職員は職員会議で共有したが、その活用やフィードバックについては個々の教員や教科任せにより学校全体として検討、実践に至らなかった。</p>	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による学校評価アンケートでは入学してよかったが73%、魅力的な学校であるが75%、生徒と教員の信頼関係が築けているが61%、授業についてはわかりやすく丁寧が68%、学習意欲を引き出す工夫が51%で昨年度と変わらず。さらに授業の質を高める取組が必要である。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を中心とする授業外の学習、主体的な学びが不十分である。 アクティブ・ラーニング等授業改善の具体的取組を学力向上委員会や教科会で検討し、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを行う。 家庭学習時間の増加や隙間時間の活用を促す働きかけを行う。 授業アンケートのフィードバックを学校全体で行い、生徒とともに授業改善に取り組む。
2	<p>【現状】</p> <p>約8割の生徒が大学進学を希望、年々増加している。中堅私大合格者の大幅増、一般受験も過半数と伸びたが、AO入試や指定校、公募推薦を選ぶ生徒がいる。</p> <p>【課題】</p> <p>生徒の第一志望実現に向けて、勉強する内容と職業を結びつけて考えさせるキャリア教育を充実させ、一般入試対策に取組み、将来なりたい自分を思い描き、将来の展望を持つような進路指導を行う。資格試験にもチャレンジさせる。</p>	進路指導計画の充実と実績を向上させる。	<p>①ガイダンスの充実、オープンキャンパスへの参加や卒業生の体験に基づき、進路意識啓発に取り組む。</p> <p>②全国模擬試験結果を活用して、受験校検討会を実施する。</p> <p>③授業補習や進学補習等を実施し、進路実現のため学習習慣を確立し学力を向上させる。</p> <p>④サテネット(衛星補習システム)の活用につき一層周知し、効果的に利用できるようにする。</p> <p>⑤小テストや補習の実施、英検IBAの活用等により英検、漢検の全員受験、合格を目指す。</p>	<p>①企画の実現と参加人数、アンケートによる効果測定</p> <p>②模擬試験の結果と一般受験・中堅・難関大学等への進路実績数伸ばす</p> <p>③補習の開講講座数、開講日数、補習への参加数、センター試験受験者数等</p> <p>④生徒の申込と利用者数の増加</p> <p>⑤資格試験最終合格者数</p>	<p>①事前指導後、1,2年生全員がオープンキャンパスに参加し報告書を提出、2年生はクラス発表を行った。様々な分野の講師を招聘しての進路講演会(2月にはホニウム発見の研究者による講演会)や現役大学生によるキャリア教育、分野別説明会等を実施し進路意識を高揚させた。3年は大学担当者等外部講師によるガイダンス等年間をとおして分野別にきめ細かく行った。</p> <p>②3年生の受験校検討会については6月に第1回、11月に第2回を実施し一人一人の生徒の進路実現に向け有効な進路指導がなされた。今年度は進路指導職員研修会の講師として県内他校の進路指導主事経験者を招き成果をあげた実践について講演していただき教員の実践的進路指導力向上に取り組んだ。</p> <p>③平日の早朝・放課後、長期休業中の補習を質量ともに充実させた。3年の小論文、面接指導等は管理職も含め多くの教員が係わり、組織的に行った。県立大学に推薦入試で7名(昨年度2)、合格、セター受験者268(昨年度238)と増加</p> <p>④サテネットは受講者総数97(昨年度22)、1年17(0)、2年25(3)、3年55(19)と大幅増。</p> <p>⑤1,2年では英単語テストを実施し学期ごとに表彰して生徒の学習意欲を高めた。1年は11月英検IBA、1月英検、2年は2月漢検をそれぞれ全員受験した。</p>	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間の進路指導計画に沿ってガイダンス等様々なキャリア教育により進路意識の啓発は進んでいるが、進路実現に結びつく持続的かつ主体的学習は十分ではない。特に国公立大学受験への挑戦者、合格者、難関私大への一般受験者、合格をもっと増やしたい。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、教育課程委員会を中心に、一般受験での合格力を高めるため平成30年度以降入学生への教育課程改訂に取り組んでいる。当然ながら次の学習指導要領改訂も視野に入れ、教育課程を改訂する。 サテネットについてはプランを変更して、より多くの生徒が参加できるようにする。 引き続き、資格試験の事前学習等も工夫することで合格率をアップさせる。
3	<p>【現状】</p> <p>部活動加入生徒9割以上、県大会以上出場部8割など文武両立の活躍がめざましい。生徒会のリードの下学校行事も活発である。</p> <p>【課題】</p> <p>「時を守り、場を清め、礼を正す」ことを徹底し自律心を涵養する。また、自他の命を大切にすること、交通安全意識を向上させる。</p>	生徒の健全育成の取組を改善する。	<p>①文武両立を図りながら、県大会、関東大会以上の出場を目指した活動をする。</p> <p>②体育祭や文化祭等において企画段階から生徒が主体的に活動する。</p> <p>③講演会やスタート・ストリート法による安全教育、巡回指導等を通して交通安全意識を向上させる。</p> <p>④校内外の美化意識を高めて、きれいな環境を維持する。</p>	<p>①部活動参加人数や県大会出場部活動数</p> <p>②体育祭や文化祭の完成度と生徒の参加態度</p> <p>③交通事故防止の具体的取組内容及び事故件数</p> <p>④清掃点検の実施結果</p>	<p>①文化部363人、運動部646人で93%の生徒が部活動に加入している。バレー、フットサルが国際大会、吹奏楽、書道が全国大会、陸上、写真が関東大会、多くの部が県大会出場を果たした。野球部の県大会での選手宣誓も立派にできた。</p> <p>②体育祭、文化祭ともに生徒会を中心に生徒が主体的に取り組んでおり、学校評価アンケートでもこれらの行事が活発だと9割の生徒が回答している。体育祭は初の9団編成で大いに盛り上がり、文化祭は来客数2594名を記録した。</p> <p>③7月にJAFによる講演会、10月にスタート・ストリート技法による交通安全教育、先方による巡回指導等を毎日実施することにより12月末までの事故件数は7件と激減した。</p> <p>④保健管理部主導の下、生徒美化委員会による清掃点検結果の公表、その後の再点検の実施により不備の改善が速やかになされた。</p>	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や学校行事をさらに活性化する。 交通事故件数は減ったものの、ゼロにはなっていない。 携帯利用マナーや交通安全マナー等生活全般にわたって自律できる生徒の育成が求められる。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の活動実績や、取組状況をHPや印刷物等で校内外にPRする。 体育祭や文化祭等の学校行事については、生徒会や生徒の委員会を中心とした取組を引き続き推進する。 命を大切にすることや、豊かな心を培うような講演会等を引き続き企画する。
4	<p>【現状】</p> <p>獨協大学留学生や海外修学旅行による現地高校生との交流等、国内外での異文化交流が定着してきた。進学校としての取組や地域との交流により信頼は、高まっている。</p> <p>【課題】</p> <p>グローバル教育等、国際理解教育推進委員会を中心として組織的に取り組み、生徒の国際感覚を高める。また、地域に開かれた学校づくり推進のため、広報活動を工夫し実施する。</p>	国際理解教育の推進をする。	<p>①グローバル講演会の実施や地域の留学生等他国の同世代との交流を通じて異文化理解に努める。</p> <p>②海外留学や海外研修の情報を積極的に提供し支援する。台湾の大学進学セミナーを開催し、進路選択の一つとする。</p>	<p>①国際理解を深める教育実践の実施と回数</p> <p>②生徒アンケートによる効果測定</p>	<p>①「青少年世界へはばたけ！育成塾」講演会やJICA講演会「ロシア島の美しい自然とゴミ問題」を実施。11月に獨協大学から留学生9名を迎え1年生と交流事業を実施。ベルギーからローラー交換留学生を2年に迎えHR、授業、総学、部活動等で交流、本校生もベルギーとアメリカに留学した。JRC部員が日本代表としてインドネシア、韓国での交流事業に参加、受入れもした。29年度修学旅行が台湾となり事前学習も始まった。</p> <p>②上記の各活動をとおして異文化に対する理解、興味・関心が確実に高まった。</p>	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在実践している取組を継続、また充実させていく。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流委員会が中心となって、学年や関係分掌、委員会等と連携して進める。
		開かれた学校づくりの推進をする。	<p>①HPの内容を各月ごと見直し更新して充実させる。</p> <p>②地域の小学校・中学校・高校・大学、社会福祉施設と連携協力し、生徒による学習サポート活動や地域貢献等を推進する。</p>	<p>①HPへのアクセス数・更新回数</p> <p>②地域貢献活動の実施の実績数</p>	<p>①学校行事等の教育活動のHP更新は新任教員中心にまめに行った。部活動やほかのページについては更新の頻度に差があり、ニーズに十分応えていない。</p> <p>②中学校への出前授業や出前高校説明会は各教科の先生方や管理職で対応した。部活動交流や生徒による学習サポート活動は本校生徒にとってもメリットが大きい。学校説明会での生徒による学校紹介、校内案内等も大変好評で12月15日現在の志願者516名で1.44倍(昨年1.41)と倍率も上昇した。部活動単位で「草加国際村一番地」等にも参加し地域交流を深めている。</p>	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> HP内容の充実と迅速かつ頻繁な更新により、生徒・保護者や中学生など多くの方に本校への理解を深めていただく。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や特色ある教育活動、進路指導、進路実績等今後にもさらにタイムリーな内容を掲載する。 地域のイベントや学校の教育活動などに生徒・教員が参加する。

実施日	平成29年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>※(生徒)は生徒から、それ以外は評議員から</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業はわかりやすく工夫されていて良い。冬休みの課題は各教科でバランスに出すのではなく、休業の日数、宿題考査等を考慮して適切な量となるよう、教科間での調整をしてほしい。(生徒) 授業を見せてもらったが、出席状況もよく後方の生徒もシャキッと授業に参加している姿に感銘を受けた。英語ではノートにしっかり予習をしており感心した。 数学ではグループワークが行われていたが、この形態はやる気を引き出し、自立や教え合いが伸びを導くと言われている。ぜひ続けてほしい。 授業アンケートに高い関心を持っている。フィードバック方法を考え実践してほしい。 <p>・進学補習や検定対策など草加高校では進路指導がしっかりされていて感謝している。(生徒)</p> <p>・いつ頃、大学進学等自分の進路について考えたか、小さい頃から決めていた生徒もいるが、高校入学後早い段階で文理選択をしなければならず、まずそこで考えた。その後、オープンキャンパスに参加したり、ガイダンス等を通じて徐々に明確になったが、全然決めていない人は大変そうだ。(生徒)</p> <p>・1年3学期、2年3学期に第一志望校を強制的にでも書かせることで具体的に進路を考えさせるようにしている。(教員)</p> <p>・ホニウム発見の研究者による講演会は素晴らしい機会だ。どういう経緯で招聘できたのか。</p> <p>・検定試験全員受験や合格への指導が素晴らしい。</p> <p>・生徒の要望(文化祭時調理室の環境改善、体育館への自販機設置等)の実現化に感謝したい。(生徒)</p> <p>・生徒会の働きと先生方の柔軟な対応が素晴らしい。</p> <p>・文化祭校内公開の活性化を検討したい。(生徒)</p> <p>・草加高校生は交通マナーが良く感心している。</p> <p>・DVDで自転車交通事故は被害者・加害者ともに大変な悲劇になることや、今年スタントマンが衝突で吹っ飛ばのを見て恐怖を感じた。(生徒)</p> <p>・敷地内自転車乗車禁止や先生方が毎日要所で立哨指導していることなども評価できる。</p>